きたすま

上にあるものを求めよ　そこには、キリストがおられる　（コロサイ３・１）

No.157
2016年 7月 31日発行
発　行　カトリック北須磨教会
〒654-0151
神戸市須磨区北落合2-3-1
発行人　高橋　聡
編　集　広報委員会

『福音の喜び』を読む　７

高橋　聡　神父

「『出向いて行く』教会とは、…やみくもに世界を駆けずり回ることではありません。足を止める、他者に目を注ぎ耳を傾けるために心配事を脇に置く、道端に倒れたままにされた人に寄り添うために急用を断念する、―そのようにしたほうがよい場合がしばしばあります。」また、教皇様は、秘跡の門が閉ざされることがないようにといいます。「秘跡の門は、いかなる理由があっても閉ざされるべきではありません。これはとくに『門』である洗礼の秘跡についていえます。聖体は秘跡の頂点ですが、完璧な人のための褒美ではなく、弱い者のための良質な薬であり栄養です。」

そして、すべての人のところに教会は向かいますが、貧しい人と病人が優先されるようにと言われます。

第一章の最後に、教皇様がよく繰り返して言われている有名なフレーズが出ています。「わたしは、出て行ったことで事故に遭い、傷を負い、汚れた教会のほうが好きです。閉じこもり、自分の安全地帯にしがみつく気楽さゆえに病んだ教会よりも好きです。中心であろうと心配ばかりしている教会、強迫観念や手順に縛られ、閉じたまま死んでしまう教会は望みません。<u>わたしたちが憂慮し、良心のとがめを感じるべきは、多くの兄弟姉妹が、イエス・キリストとの友情がもたらす力、光、慰めを得られず、また自分を迎えてくれる信仰共同体もなく、人生の意味や目的を見いだせずに生きているという事実に対してです。</u>過ちを恐れるのではなく、偽りの安心を与える構造、冷酷な裁判官であることを強いる規則、そして安心できる習慣に閉じこもったままでいること、それらを恐れ、その恐れに促されて行動したいと思います。」下線は私が勝手に引いたものですが、この部分が、教皇様にここまで強く言わせる核心部分ではないかと思います。この隣人愛、この兄弟愛に基づいて、私たちは行動すべきだからです。

「すべての人にイエスのいのちを差し出すために出向いて行きましょう。」私たちが出会う人一人一人に、私たちが心を込めて、心を開いて、主イエスのいのちを言葉と行いで伝えて行けるかが問われているのではないでしょうか？

新 委 員 長 の 派 遣

７月のミサの中で、新しく選出された各委員会の委員長の派遣式が行われた。７月３日には高橋神父様より、17 日には後藤神父様より、派遣の祝福が与えられた。任期は今年度と来年度の２年間となる。

典　礼	ＨＭ
財　務	ＫＳ
社会活動	ＩＭ
青少年	ＫＫ
高齢者支援	ＴＭ
総　務	ＴＩ
地　区	ＹＳ
広　報	ＴＨ

寄　稿

ブラザー・メルシュのこと

ＨＭ

ブラザー・メルシュと言っても、知らない人が多いと思います。六甲学院で木工を担当しておられたイエズス会士です。実は北須磨教会にはブラザーの作品がたくさんあります。皆さんが毎週座っているベンチも聖櫃もブラザーが造ったものです。何故か私にではなく、嫁さんへのプレゼントですが、我が家にも立派な家庭祭壇やサイドテーブルがあります。

メルッシュさんは寡黙な人でしたが、神学や聖書学はもちろん、音楽や絵画など芸術にもとても造詣の深い人でした。木工技術の腕はドイツから十字勲章を授与されたバリバリのマイスターです。

私は納得できる聖堂ができた時には、メルシュさんに祭壇を造ってもらおうと決めていました。何とかそれらしき聖堂ができたので、祭壇製作を依頼するため六甲学院にブラザーを訪ねました。ところが、もう歳だから大きな物は造っていないと断られました。でも、その聖堂だけは見てみたいとおっしゃられたので案内しました。

長い間無言で眺められてから、「おめでとう」とだけおっしゃいました。帰り際に、独り言のように「そうだ。まだよいチーク材があったな。」と呟かられました。

それから１か月ほどしたとき、ブラザーから電話がありました。「祭壇ができたから取りにおいで」と。

寄　稿

初めてのブダペスト、２回目のプラハそして３回目のウィーン

ルドヴィコ　KM

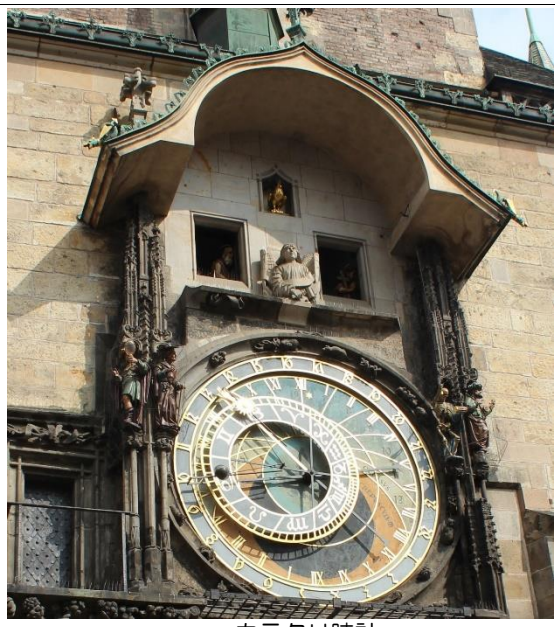
今回の神戸バイブル・ハウスの巡礼旅行の目玉は、「ペンテコステ（聖霊降臨祭）のミサをウィーン少年合唱団の聖歌隊で与かる」ことであった。王宮礼拝堂の入口に差し掛かると大勢の人が行列を作っていた。我々５６名は予め予約を入れていたので、優越感を感じながら、素通りして、中に入った。私の席は、一階の祭壇の前から４番目の見通しの利く、一番端であった。４階からウィーンフィルの演奏でウィーン少年合唱団が歌うシューベルトのミサ曲が、頭の上から降り注ぎ、荘厳であった。残念ながら、ミサ中の写真撮影は禁止されていたが、ミサ後、合唱団が祭壇まで降りてきて、歌を披露してくれた時は撮影が可能であった。音楽の都ウィーンと言われるだけあり、ベートーベン、シューベルト、モーツアルト、ハイドンやブラームス等の所縁の場所には、赤白赤のオーストリア国旗をアレンジした布が掲げられていた。ハプスブルグ家の象徴ともいえる聖シュテファン大聖堂の涙を流したと言われる奇蹟の聖母子画やフリードリヒ３世の有名な「ＡＥＩＯＵ」（ Alles Erdreich ist Ōsterreich untertan）が刻まれた祭壇、そして皮肉にも王立の美術史博物館で見たハプスブルグ家の滅亡を暗示したフェルメールの名作「画家のアトリエ」が印象に残った。

次は、現役時代、ハンガリー関係の仕事が多かったので、同業他社を含め、勤めていた会社の者すら、私は何回もブダペストを訪問していると思っていたようだが、一度の機会もなく、行った人からはワインの旨い町と聞き、一度は訪問したいと思っていたブダペスト。ワインは正直私の口に合わなかった（甘すぎた)が、オーストリア・

ウィーンの王立礼拝堂祭壇前で歌うウィーン少年合唱団(日本人を含む東洋人が４人もいた)

ハンガリー帝国の片鱗を感じる旅であった。美しいドナウ川の夜の貸し切りクルーズも、意外と印象に残った。ウィーンへ向かう最後の日、パンノンハルマ修道院で、十字架の道行きのステンドグラスを見つけたが、第１留と第７留を撮り損ねたのに、悔いが残る。

この巡礼で最初に訪れたプラハの町は、ベルリンの壁が崩壊した時、ISO(國際規格)制定の技術者会に出席していた町。よく歩いたこととピルセンビールが旨かった記憶があった。ピルセンは、チェコのプルゼニのドイツ語読みだ。出発前に足を痛めていたので、不安はあったが、いきなり１万８千歩から２万歩の強行軍を何とか乗り切り、旨いビールを堪能できた。プラハ旧市庁舎にあるカラクリ時計は面白い。１時とか２時の正時が近づくと死神が手にした砂時計を傾け、もう時間がないことを告げる。反対側のユダヤ人は持っている棒で時計の針が進むのを止めようと試みる。死神の隣のトルコ人は手にした帳簿を調べ始める（大阪商人の様)、ユダヤ人の隣のナルシストは鏡を見る（誰かと同じ、私だけは「悪くない」)。文字盤の上にある２つの小窓が開き、１２使徒が顔を出し乍ら、忙しく走り回る。やがて、その上の金色のニワトリが３回羽をバタつかせ、正時を迎えて、全てが終わる。この羽ばたきを見逃がしたからと、２人のご婦人にせがまれ、私は何回か見ているのに、見に行った。ところがその２人、又しても、羽ばたきを見逃した。もう一回見るには、もう一時間ブラブラする



カラクリ時計

必要があり、さすが諦めたようだった。３人で思い切り笑った。皆さん、見に行くなら、１２使徒の動きに気を囚われないで、ニワトリに注視してください！！

式次第や聖歌集の作成、先唱者、朗読者の選定などミサの準備は大変だが、毎日ミサに預かり乍らの旅は、まさに、巡礼旅行に相応しい。自身１０回目の巡礼の旅は、４４か国目の新たな訪問国を加えて終わった。参加者は皆、来年の巡礼を楽しみにしている様子であった

ハンガリーのエステルゴム大聖堂で、ミサ後集合写真

２０１６年８月・典礼奉仕担当者表　(敬称略)

典礼委員会

月日　主日	司式者	先唱者	オルガン	聖体奉仕	聖書朗読	答　唱	共同祈願	ミサ準備	備　考
８・ ７(日)９時 年間第 19 主日	Fr. 高　橋	ＩＭ	ＴＴ	ＫＴ (北)	①MA ②MN	ＩＴ	５地区	Ｋ・Ｔ (洗) ＫＲ	
８・14(日)９時 年間第 20 主日	池長大司教	ＴＨ	ＴＫ	ＮＹ (南)	①ＹＹ ②ＴＴ	ＹＳ	５地区	Ｙ・Ｙ (洗) ＫＲ	
８・15(月)10 時 聖母の被昇天	Fr. 後　藤	ＴＹ	ＹＳ	ＮＳ (北)	①ＡＹ ②ＯＲ	ＭＳ	評議会 メンバー	Ｋ・Ｔ (洗) ＫＲ	
８・21(日)９時 年間第 21 主日	Fr. 後　藤	ＮＳ	ＴＴ	ＨＴ (南)	①ＩＲ ②ＩＭ	ＨＫ	6A 地区	Ｋ・Ｔ (洗) ＫＲ	
８・28(日)９時 年間第 22 主日	Fr. 後　藤	(子供ミサ 担当)	ＹＳ	ＨＫ (北)	①子供・担当 ②　〃	Sr.前田	6A 地区	Ｙ・Ｙ (洗) ＫＲ	子供と共に 捧げるミサ

担当に変更のある場合は、お聖堂入口の掲示表を赤ボールペンでご修正下さい。

お　知　ら　せ

☆神戸地区平和祈願ミサ・平和旬間行事☆

日　時: ８月６日(土)
　　13:00 開場・13:30 開会
会　場: 神戸中央教会
教区統一テーマ：愛とゆるしの平和
～イエスにならい、いつくしみの顔をしめそう～

〈平和旬間行事〉

教区青年 Youth９（ユースナイン）
スライド劇「もしも日本国憲法が変わったら」
　初めての試みとして、30 分のスライド劇の後、平和について子育て世代の青年たちと開場一体のトークを行う予定。

〈平和祈願ミサ〉

８月６日（土）　主の変容
司式：高橋　聡地区長、神戸地区司祭団

今年は教区の行事はなく、各地区で行うこととなります。

☆転出されました☆

第７地区　ﾏｸﾞﾀﾞﾚﾅ・ﾏﾘｱ　ＥＫ　さま
明石教会へ
お元気で！

編　集　後　記

　夏本番となりました。教会も夏休みとなる活動が多くなりますね。
今号はお二人の寄稿をいただいて、なんとか「きたすま」の体裁も整いました。
今後も皆様の寄稿をお待ちしています。
(GTH)

マンスリースケジュール8月

2016

日・曜日				
8/1	月		卓球（13～17）	
2	火			
3	水			
4	木		卓球（13～17）	西区のミサ（14～西区民センター）
5	金			
6	土	教会清掃(第5地区)・地区集会		英語クラブ（14～16）
7	日	年間第19主日　ミサ9：00～		典礼委員会
8	月		卓球（13～17）	
9	火	社会活動センター炊き出し(9：30～)		
10	水			
11	木		卓球（13～17）	
12	金			
13	土	教会清掃なし		
14	日	年間第20主日　ミサ9：00～		
15	月	聖母の被昇天　ミサ10：00～		
16	火			
17	水			
18	木		卓球（13～17）	
19	金			
20	土	教会清掃(第6A地区)		
21	日	年間第21主日　ミサ9：00～		社会活動委員会
22	月		卓球（13～17）	
23	火			男の料理教室（17～）
24	水			
25	木		卓球（13～17）	
26	金			
27	土	教会清掃なし		
28	日	年間第22主日　ミサ9：00～	地区高齢者支援合同委員会	
29	月		卓球（13～17）	
30	火			
31	水			
9/1	木		卓球（13～17）	
2	金			主日の聖書を読む会（14：30～）
3	土	教会清掃(第1・4地区)		英語クラブ（14～1 ロザリオの祈り(16:15～)
4	日	年間第23主日　ミサ9：00～	信仰講座（ミサ後）	

★今月のお茶当番は第2地区です★

カトリック北須磨教会ホームページ

http://cathkitasuma.web.fc2.com